

平成 28 年度 共同研究報告書

研究区分		萌芽的共同研究
研究課題		高感度 MRI を用いた神経活性化による炎症誘導機構の解明
研究代表者	所属	大阪大学免疫フロンティア研究センター生体機能イメージング
	職名・氏名	教授・吉岡芳親
受け入れ教員	職名・氏名	教授・村上正晃
研究目的 (100 字以内)		本課題ではマクロトームを利用し、MRI で得られた情報をより補完的に解析することでストレス等による各種神経活性化がどのように病気に寄与するかを詳細に明らかとすることを目的とした。
研究内容・成果 (200 字以内)		ストレスと脳内微小炎症によって胃十二指腸潰瘍が誘導されるモデルを分子神経免疫学教室と共同で開発し、本モデルでの神経活性化部位について MRI で観察した結果、視床下部での特異的な神経活性化部位を同定した。本部位はマクロトームによる検証でも同様の結果を得られた。また特異的な神経活性化部位の破壊により潰瘍の症状が有為に減弱することも見いだし、今後はその詳細な分子機構を同定する。
成果		【学会報告】 参加者名、講演タイトル、学会名、開催場所、開催日時入力のこと
		【論文発表】 著者、論文名、掲載誌名、号・年・ページ等、IF 入力のこと
		【新聞報道】